



漱石とくまもと

〈13〉漱石の旅

熊本時代の漱石は、北九州への新婚旅行をはじめとして、よく旅行をしています。修学旅行の引率や、福岡・佐賀への出張は公的な旅行ですが、そのほかにも久留米・小湊・阿蘇・耶馬溪へ出かけ、たくさんの俳句を残しています。

凧や海に夕日を吹き落とす

凧の吹きすさぶ中、まるで吹き落とされるかのようにあつという間に水平線に落ちていく夕日を詠んだものですが、天草・島原地方への修学旅行で作ったものと思われます。

それは、明治29年(1896)11月14日から19日までの5泊6日で行われた、漱石が初めて参加した修学旅行でした。当時の修学旅行は、軍事演習を兼ねており、生徒は軍隊のように行軍し、所々で2軍に分かれて発火演習(実弾を込めず、火薬だけで行う射撃練習)を行い、実戦形式で訓練しました。学校から、三角を経由して本渡、富岡へ至り、そこから島原・雲仙に渡り、熊本に帰るといったコースです。春日停車場(現熊本駅)から宇土駅までは鉄道、三角港から本渡、富岡から島原の小浜、島原から坪井川口までは舟を利用しましたが、あとはすべて徒歩です。

生徒たちは各地で非常な歓迎を受け、発火演習には見物客も多く訪れました。現地の生徒たちとの交流なども行っています。体力・忍耐力の強化と団体行動が修学旅行の主な目的でした。漱石は、明治31年の山鹿地方への修学旅行にも参加しています。

新婚旅行後の、私的な最初の旅行は、明治30年の春休みに行った久留米旅行です。久留米は友人でもあり、同僚でもあった菅虎雄の故郷でした。菅の案内があったかどうかはわかりませんが、高良山に



▲久留米森林つつじ公園の句碑
—遠くに筑後平野が見渡せる



▲発心公園の桜

登って高良大社に詣で、そこから耳納連山を越えて、発心桜を見ました。山上から筑後平野を見渡して詠んだのが

菜の花の遙かに黄なり筑後川

という俳句です。これは、のちに『草枕』の風景に取り入れられたとも言われています。

あいにくと天気は曇り空から雨模様となったようで、山路を歩く人もいなかったのでしょうか。

人に逢はず雨ふる山の花盛

という句を詠んでいます。発心山は、江戸時代には山頂から山麓まで桜の木が咲き誇り、代々久留米藩主が花見をしていた所でした(野口健司「漱石の見た耳納連山」2014・10)。

松をもて囲ひし谷の桜かな

戦前までは公園の周りの山はアカマツの林だったそうです(野口健司、同上)。現在も、発心公園には170本ほどの桜の木があつて、多くの花見客が訪れます。漱石がこの久留米旅行で詠んだ俳句のうち五句が句碑に刻まれ、耳納スカイライン沿いに建てられています。

旅は、漱石に日常とはかけ離れた豊かな時間と多くのインスピレーションを与えたと言えます。

(くまもと漱石倶楽部会員・熊本大学五高記念館客員准教授 村田 由美)

※左上のイラストは夏目漱石記念年イメージキャラクターです。

くまもと俳句ポスト入賞作品紹介 (文化振興課 ☎096-328-2039)

特選
(平成27年12月末締め)

激動に 生きし小楠 草の露

(熊本市 児玉 胡餅さん)

幕末の思想家・政治家であった横井小楠が、門弟を指導した塾であり、今は記念館となっている四時軒(東区沿山津)での作であろう。幕府改革に参画し、のち新政府にも招かれて活躍したが、天主教の布教にかかわっていると暗殺された。そんな時代の激動そのままに生きた郷土の英雄の生涯を、「草の露」として偲んだ、その直接さがいい。

家の片づけで困ったときは災害ボランティアセンターへ

熊本地震で被害を受けた家の中の片付けなどの手伝いをします。

- ※依頼順にかかわらず、高齢者1人暮らし、高齢夫婦世帯、障がいがある方を優先します。
- ※ボランティアの派遣調整に、少々時間がかかります。
- ※危険を伴う作業など対応できない内容もあります。

申込み 以下のいずれかの方法で災害ボランティアセンターへ申込み

■電話 (いずれかにおかけください)

- ☎090-6653-1592 ☎090-6653-1581
- ☎080-3025-7621 ☎080-3025-7641
- ☎080-3025-7796 ☎080-3025-8917

■ファクス

市ホームページからダウンロードできるボランティア依頼票をファクス(096-354-2122)

■電子メール

- 1 住所・氏名・電話番号を電子メールで(info@kumamoto-city-csw.or.jp)に送信
- 2 本センターより折り返しご依頼者に電話をかけ詳しい依頼内容を聞き取ります。



災害ボランティアさん 募集中!



集合場所

熊本市災害ボランティアセンター

※(仮称)花畑広場内(中央区花畑町7-10)

時

間 午前9時～午後4時(受付:午前9時～11時)

内

容 ・家屋の片づけが困難な方に対する室内清掃やがれき撤去などの支援
・避難所での清掃活動、救援物資の仕分け作業
※(仮称)花畑広場に集合後、市電・路線バス・センター手配のジャンボタクシーなどを利用し災害現場に向かい活動

持 参 物

汚れてもよい服、長靴、飲み物、弁当、タオル、帽子、マスク、軍手、スリッパ

申 込 み

当日直接熊本市災害ボランティアセンターへ

問 合 せ

☎090-6653-1552 ☎090-6653-1648 ☎090-6653-1649

熊本市社会福祉協議会ホームページでも情報発信しています。[熊本市社協] [検索] (地域活動推進課 ☎096-328-2036)

熊本市コールセンター

休日在宅番医、イベント情報、区の窓口 午前8時～午後9時(年中無休)
業務など、いつでもお尋ねください さあみんな知ってるひこまる

ひこまるコール ☎096-334-1500

FAX 096-370-2002 電子メールアドレス 1500@higomaru-call.jp

ホームページ ひこまるコール [検索]

配布に関するお問い合わせ

市政だより配布センターの電話番号が
変わりました!

☎0120-939-689

午前8時～午後8時(土・日曜日、祝日は除く)

マナブを探せ!

市政だよりのどこかのページに、
隠れてしまったマナブくん。
あなたは見つけられるかな?
TKU「英太郎のかたらんね」内コーナー
「市つとるね!マナブくん」
毎週水曜日 午前10時半頃～



4月号の答え
6ページ「委員募集」に
隠れてみたばい。

再生紙を使用しています